

(伊良尾山遠望)

# 萩ジオパーク推進だより

2019年1月1日 No. 46

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510  
TEL : 0838-21-7765 FAX : 0838-25-7767  
e-mail : geo@cityhagi.lg.jp  
HP : <http://www.cityhagi.lg.jp/site/hagigeo/>

発行 : 萩ジオパーク推進協議会  
事務局 : 萩市ジオパーク推進課  
Facebook: <https://www.facebook.com/HagiGeoProject>

## 【年頭挨拶】

## 新年明けましておめでとうございます。



萩ジオパークを愛する多くの皆様の活動成果が実り、昨年9月20日、萩ジオパークが誕生いたしました。改めて、関係の皆様のこれまでのご協力やご苦労に対し、お礼を申し上げます。

さて、日本ジオパークの仲間入りを果たした今、萩ジオパークの真価がいよいよ問われてまいります。協議会会長として、大地とのかかわりを見つめ、地球の視点で「萩らしさ」が“見える”・“伝わる”まちを目指して、10年後、20年後、萩ジオパークが日本中に誇れるジオパークとなっているよう皆様とともに頑張っていく所存です。

協議会の皆様におかれましては、引き続き、お互いに楽しみながら、将来の世代のためのより良い地域づくり、萩ジオパークづくりにご協力をお願いいたします。

萩ジオパーク推進協議会会長 萩市長 藤道健二

## （報告） 臨時総会を開催 協議会の名称を改めました 11/30（金）

昨年11月30日（金）、萩ジオパーク構想推進協議会臨時総会を開催いたしました。この臨時総会は、日本ジオパーク認定後、最初の総会であり、審査報告についての共有と、協議会名称の変更等の議事、課題解決に向けた今後の取組方針について審議・確認をいたしました。併せて、平成30年度の協議会各事業の進捗状況についても報告いたしました。以下に概要を報告いたします。

### 〔JGC 審査報告事項の共有〕

日本ジオパーク認定にあたっては、高い評価とともに、活動の可視化や継続性など多岐にわたる課題の指摘がありました。これらについて、事務局から詳細な報告を行いました。

### 〔議事〕

次の2件の議案について満場一致で認められました。

日本ジオパークネットワークへの加盟が認められたことから、晴れて「萩ジオパーク」を名乗ることができるようになりました。このため、萩ジオパーク構想推進協議会としてきた協議会名称から「構想」の文字をとり、萩ジオパーク推進協議会に名称変更をすることになりました。

また、協議会に顧問を設置することとし、これまで現地審査などにご協力いただいた横山秀二萩市議会議員に会長から顧問を委嘱することとなりました。

### 〔今後の取組方針〕

活動の可視化やジオサイトの保全、食をいかした取組の推進、ジオツーリズムの実施などJGCから示された多岐にわたる課題解決に向けて、協議会の体制を強化する必要があり、年度末までを目途に保全部会、地域振興部会の各部会において体制強化について議論し、31年度総会に強化策を提案する方針が確認されました。

(報告：事務局長 中村正弘)

萩市ジオパーク活動応援事業を受け、長崎県島原市、南島原市、雲仙市で構成される島原半島ジオパークを19名で視察しました。当地は2009年に「世界ジオパーク」として日本で初めて認定されており、その始まりは430万年前からの火山活動に始まったものです。がまだすドーム（普賢岳災害記念館）では、1990年から始まった雲仙普賢岳の壮絶な噴火活動の様子をシアター等で視聴し、計り知れない自然の猛威と苦難を乗り越えてきた人々、また噴火活動で生まれた土地や水、温泉を火山の恵みとして生活に生かし、今に伝えていることに一同深い感動を覚えました。ジオの目指すところは、「住民が地域の宝の価値をもっと学び・知り、地域を支える持続的な活動に結びつけていくこと」との説明でした。ミネラル豊富な湧水を使った味わい深い「かんざらし」や火山土壌を生かした国内第2位を誇るジャガイモの生産等は、その象徴とも言えます。また、3市小中学校を対象とした学習発表の展示もありました。

翌日雲仙地域を案内いただいた認定ジオガイドのお話の中で、ジオは見せるだけではなく、ジオを「体験することで感動を覚えていただく」ことが大切であるとの説明が印象的でした。是非、萩ジオガイドの養成にも生かしていきたいものです。研修参加の皆さんから、改めてジオについての勉強を深めていく意欲もうかがえ、有意義な研修となりました。

（弥富豊ヶ淵交流事業実行委員会 会長 奥山 明）



〔ジオサイト「浜の川湧水」を見学〕



〔敷石に腰を下ろしてを火山の熱を体感〕

## 萩ジオアカデミー（第5回）「阿武火山群・龍が通った道」を開催

12/8（土）

12月8日（土）午前10時から午後3時まで、萩ジオアカデミー一講座⑤「阿武火山群・龍が通った道」を開催しました。講師には伊良尾火山の形成史について論文にまとめられた、清杉孝司神戸大学助教を昨年度に引き続きお迎えし、前回の疑問点にもお答えいただく形でお話いただきました。現在調査中の伊良尾山の林道で見られる露頭からわかること、阿武火山群の中で最も激しい噴火をしたことが裏付けられる点にも触れられました。1時間の講義の後の質疑応答はとても活発で、時間が足りないほどでした。弥富豊ヶ淵交流事業実行委員会の皆さんのおもてなし昼食をとり、午後からは雪の降る中、現地見学となりました。駆け足で見て回りましたが、座学の内容と現地が結びつき、前回参加された方も理解が進んだとの感想をいただきました。

今年度、第一線の研究者から萩の大地の成り立ちについて、座学と現地見学で学ぶこの萩ジオアカデミーの講座には、全5回で延べ150名の方が参加されました。次年度以降も開催する予定ですので、是非ご参加ください。



〔活発な質疑の様子〕



〔40万年前の川底を確認〕

# 萩の魅力再発見ツアー 城下町でジオさんぽ!

12/2 (日)

12月2日(日)、「萩の魅力再発見ツアー～城下町ジオさんぽコース～」を行いました。これは、萩ものしり博士検定の受検者特典ツアーとして企画されたもので、白井専門員をメインガイドに、3人のジオマスターの方にもポイントガイドとして案内していただきました。

「萩はなぜ夏みかんのまちになった?」というテーマのもと、萩博物館を出発し御成道→江戸屋横町→中央公園→晋作広場→菊屋横町→外堀→菊ヶ浜と回るコースを歩くこと2時間。萩と夏みかんの歴史的な背景に加え、萩三角州の地質図を広げて砂丘と泥の境目を確認したり、釣り竿と釣り糸を使って土地の高さを比べたりと、ジオパーク目線で掘り下げながら解説していただき、じっくり・ゆっくりと、まさに「おさんぽ」気分を楽しむことができました。最後には萩博物館のレストランで夏みかんスイーツも味わって、参加者の皆さんも大満足で帰っていかれました。

この日は、もう1つのコースとして、「浜崎ジオさんぽコース」も実施。こちらは、地元「浜崎しっちょる会」の皆さんが、白井専門員と一緒に地区を歩き作った案内コースで、浜崎の町並みの魅力を砂丘の尾根に沿った道筋や、海と密接につながってきた地元の生業など、地形や地質、土地の成り立ちから掘り下げて歩きました。

どちらのコースも人々の知恵と工夫を体験できる「ジオさんぽ」でした。

(萩まちじゅう博物館推進員：山本明日美)



【夏みかんがいっぱいの道筋】

## ジオ・カメラ散歩

越ヶ浜小学校3・4年生 (11/30)  
地域の方と一緒に、集落の「ヒヤシ」(風穴)を巡りました。昔の人がどんなふう「笠山の恵み」を使っていたのかがわかりました。



佐々並小学校 (11/24) ふれあい発表会 “地域のお宝発表” でジオパークのお話をしました。佐々並に暮らす皆さんにはどんな大地の恩恵や脅威があるのでしょうか?



白水小学校6年生 (12/6)  
ここの地面はどんな感じ? 黒い、ガサガサ、ゴツゴツ...、溶岩だ! 火山の噴火でできたんだよ。

椿西小学校6年生 (11/22)  
畳ヶ淵へ行き、火山がつくった不思議な景色「柱状節理」を観察しました。



## 明倫小学校より “お知らせ”

1月6日(日)まで、萩・明倫学舎復元教室にて、明倫小学校5年生が作った「萩市内ジオ・ツアー」のポスターを展示しています。



かんぱね半田くん

第1話 原作：わっきー教授 画：白玉だんご



わっきー教授

皆さん、半田くん、知ってます？ 萩市福井上にある半田石灰岩から生まれた、萩ジオパークの新キャラクターです。おとなりの秋吉台ではスーパースターの石灰岩。でも、萩では…？ 楽しいストーリーで、萩ジオパークを盛り上げます！ よろしくねえ！！

観光列車「〇〇のはなし」 12/1 (土)  
大好評！車内イベントとミニジオツアー

新下関駅ー東萩駅間で運行する観光列車「〇〇のはなし」で、12月1日(土)に「ジオパークのはなし」と題した車内イベントと、東萩駅発着のオプションツアーを実施しました。運行区間のうち長門市駅間で行った車内イベントは、白井専門員が乗り込み、車窓から見える景色は実は火山の活動によってできたことや、これから向かう萩城下町はマグマに支えられているといったお話をしました。その後、東萩駅発着のオプションツアーで、車内の話で登場した、城下町の建物を支える基礎石、笠山の溶岩を実際に見学するツアーを実施しました。笠山の海岸の荒々しい溶岩の姿と、それとは対照的な平坦な石切り場の姿に感嘆の声が上がりました。わずか1時間のツアーでしたが、自力では行けない場所へのご案内であることや、新しい視点から見た萩城下町の姿に、何度も訪れたお客さんにも満足していただきました。

事前予約なしにもかかわらず、乗客の3分の1のお客さんが参加され、大変好評を得ました。約1年半前から運行している「〇〇のはなし」ですが、現地ツアーと組み合わせるのは初めての試みだったようで、この結果は下関市や長門市などの他の地域にとっても参考になったようです。今後、ジオガイドやジオプランナーの活躍の場としても、継続的に展開できると良いと思っています。



〔説明に聞き入るツアー参加の皆さん〕

萩ジオパークフォトコンテスト 作品募集中

萩ジオパーク推進協議会では、現在、萩ジオパークエリア内で過去1年以内に撮影した「萩ジオパークの魅力が伝わる」写真を募集しています。「維新とマグマ胎動の地・萩」のテーマに即した写真をお待ちしています。入賞者には賞品、賞品を用意しています。詳細はHP、チラシをご覧ください。

1月の予定

- 萩ジオカフェ 1月17日(木) 18:30~20:00 会場：萩・元気食堂、参加費：300円、主催：萩ジオパーク推進協議会 申込み：前日までに萩ジオパーク推進協議会事務局(萩市ジオパーク推進課) (0838-21-7765) ※全国のジオパークからお菓子をお取り寄せ。次回の相手は・・・。
  - 萩ジオパーク推進協議会「救急救命講習」1月19日(土) 13:00~16:00 会場：萩市消防本部 内容：ガイド等の野外活動時における救急救命法を座学及び実技で学ぶ。参加費：無料 主催：萩ジオパーク推進協議会 申込み：1月9日(水)までに萩市ジオパーク推進課(0838-21-7765)へ電話連絡のこと。
  - geoとも(萩ジオ友の会)定例会「座学」1月19日(土) 13:30~16:00 会場：萩・明倫学舎内ジオパークビジターセンター 内容：ビデオ視聴ほか。参加費：100円 主催：geoとも 問合せ：萩市ジオパーク推進課(0838-21-7765)
- ※ ●の行事に参加される場合は、必ず萩ジオパーク事務局(0838-21-7765)までご連絡ください。